

交通安全家庭新聞

2025年



入念な準備で
身を守る！

★年末年始にかけての気ぜわしさから歩行者・自転車や車が慌ただしく行き交ったり、地域によっては降雪や寒さの影響で道路環境が変化したりと、冬の交通場面には季節特有の危険が潜むようになります。

★事故防止のポイントをしっかりと学ぶなど、冬を無事故で乗り切るための準備をしっかりと行いましょう。



八幡平市交通安全協会

どんな場所で事故が多発しているのか…

チェック!

事故を回避するための安全な行動に…

チェンジ!

★交通事故を防止するためには、具体的に、どんな場所でどんな事故が多発しているのか、そして、身を守るためにどんな行動をすべきなのかを理解して普段から実践するなど、事前に準備をしておくことが肝心です。



歩行者・ドライバーはチェック!

住宅地の閑散とした道路で、歩行者と車の事故が多発!

★交通量の少ない閑散とした住宅地の道路では、近隣住民の歩行者が「ここはふだん車が通らないから…」と油断して、右左の安全を確認せずに無警戒に横断したり、歩いている人が少ないことに気が緩んだドライバーが漫然と通行したりしがちです。



行動を
チェンジ!

歩行者は…

交通量が少ない道路でも、横断前に立ち止まり、右左から車が近づいてきていないか確認!

ドライバーは…

「歩行者がいきなり横断してくるかも…」と警戒し、道路脇に歩行者がいないか探しながら通行!

冬道(積雪・凍結路)では…

運転スタイルを

「冬型」にチェンジ!

◎これからの季節、特に降雪・寒冷地では、積雪・凍結路でのスリップによる事故が多発します。

◎早めにスタッドレスタイヤを装着することはもちろん、スリップを招きにくい「冬型」の運転を実践して、事故を防止しましょう。



1 ゆっくり発進する!

※冬道では、発進時にアクセルを踏み込みすぎると、タイヤが空回りして、なかなか発進できなくなります。

※ブレーキを緩めるだけでゆっくりと前進を始める「クリープ現象」を活用して発進したあと、徐々に加速しましょう。

クリープ現象を活用





自転車利用者・ドライバーはチェック!

住宅地の信号がない交差点で、 自転車と車の出会い頭事故が多発!

★住宅地に点在している信号がない交差点では、そこを通り慣れた自転車利用者が「ここはめったに車が通らないから…」と油断して、一時停止や安全確認を怠って交差点に進入したり、「交差道路側に一時停止標識があるから…」と油断したドライバーが安全を確かめずに通行したりしがちです。



行動を
チェンジ!

自転車利用者は…

交差点の手前で一時停止し、
交差道路から車がきていないか必ず確認!

ドライバーは…

交差道路側に一時停止標識がある場合でも、
自転車のとび出しを予測して、必ず安全を確認!



歩行者・自転車利用者・ドライバーはチェック!

青信号の交差点で、歩行者・自転車と 右・左折車の事故が多発!

★青信号の交差点では、「青だから安全だろう…」と油断した歩行者・自転車利用者が周囲に目配りせず横断したり、ドライバーが、横断歩道を渡っている、または渡ろうとしている歩行者・自転車の存在を確認せず無警戒に右・左折したりしがちです。



行動を
チェンジ!

**歩行者・
自転車利用者は…**

横断前だけでなく横断中も、交差点を広く見渡して、
右・左折車が近づいてきていないか確認!

ドライバーは…

右・左折する前に、横断歩道上やその付近に
歩行者・自転車がいないかしっかり確認!

2. 同時操作をしない!

❖ハンドルを操作しながらアクセルやブレーキを踏むと、横滑りやスピンが発生する危険性が高くなります。

❖アクセルやブレーキの踏み込みを戻してから、ハンドルを操作するようにしましょう。



3. ブレーキはソフトに踏む!

❖特に凍結路面では、少しでもブレーキを強く踏みすぎると、タイヤの回転が止まって滑走し、制動距離が延びたり、ハンドル操作で進路の修正ができなくなったりします。

❖減速・停止するときは、早めにアクセルを緩め、エンジンブレーキを活用して徐々にスピードを落としたあと、最後にブレーキをジワッとソフトに踏みましょう。

ジワッとソフトに踏む



年末年始の安全運転ポイント

帰省などで家族を乗せる機会が増えるから…

1

全席で必ずシートベルトを着用!

- シートベルト非着用の人が事故で死亡する確率は、着用者と比べると運転席では40倍以上、助手席では約10倍、後部座席では3倍以上になります。
- 事故時に車外に放り出されたり、車内で全身を強打したりすることを防ぐためにも、全席でシートベルトを必ず着用しましょう。



身長150センチ未満の子どもには
チャイルドシートを使用しましょう!

忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が増えるから…

2

飲酒運転をしない、させない!

- 酔いの自覚がなくても、お酒を飲むと心身機能が確実に低下し、事故を起こす危険性が非常に高くなります。
- ドライバー自身が運転前にお酒を飲まないことは当たり前ですが、周りの人も、車を運転する予定のある人にお酒を勧めない—など、みんなが協力して、飲酒運転を根絶しましょう。



冬は日没が早くなるから…

3

夜間の運転は、要注意!

- 夜間に発生した事故は、昼間の事故に比べて死亡事故になる確率が約3倍になる—という特徴があります。
- 特に道路の右側から横断してくる歩行者を見落としやすくなりますので、ドライバーはライトの光が行き届かない前方右側にもしっかりと目配りして、歩行者の早期発見に努めましょう。



令和7年 の交通事故防止県民運動

実施期間 12月15日(月)から12月24日(水)までの10日間

スローガン 「飲む前に 車じゃないよね? 再確認」

運動の重点

- ① スピードダウンの徹底
- ② 高齢者と冬休み中のこどもの交通事故防止
- ③ 飲酒運転の根絶
- ④ 冬道用タイヤ装着の徹底

